



(株)ルネサンス本社

ヒアリング実施日時:2018年3月26日(水) 10:30-11:30

ヒアリング実施者:小熊祐子、佐藤真治

ヒアリング対象者:取締役常務執行役員 高崎尚樹

施設住所:東京都墨田区両国 2-10-14

1. 施設の概要

日本に全国展開するフィットネスクラブ大手。スポーツクラブ業界三位。本社に併設されているルネサンスクラブ両国のみが指定運動療法施設の認定を受けている。

【ヒアリング結果】

- ① 施設のタイプはどのタイプですか 民間のスポーツクラブ
- ② 会員(登録者)数は何人くらいですか 3000人程度
- ③ 利用者の年齢構成は 20歳未満(15%)、20代(15%) 30-40代(20%)、50代(20%)、60歳以上(30%)

2. 体力測定について

【ヒアリング結果】

- ① 身長、体重、皮脂厚などの測定を実施していますか 全員を対象にして実施
- ② 身長、体重、皮脂厚などの測定の実施頻度はどのくらいですか 随時
- ③ 全身持久力測定を実施していますか 希望者のみ実施
- ④ 全身持久力測定の実施頻度はどのくらいですか 随時
- ⑤ その他の体力測定を実施していますか 全員を対象にして実施
- ⑥ その他の体力測定の実施頻度はどのくらいですか 随時
- ⑦ 指定運動療法施設ですか はい

3. 運動療法プログラムについて

【ヒアリング結果】

- ① 医療費控除対象者は月何人ですか? ほとんどない
- ② 利用者が医療費控除の制度を活用できていると感じますか ほとんど活用できていない
- ③ 施設として、利用者に対して医療費控除の制度を積極的に周知していますか ほとんど周知していない
- ④ 施設として近隣の医療機関に医療費控除の制度を積極的に周知していますか ほとんど周知していない
- ⑤ 施設として近隣の医療機関と医療費控除の制度に関して連携していますか 少しだけ連携している

4. 健康増進施設に関する課題や希望

・制度のハードルが高い

- 利用者側にも施設側にも、制度を積極的に活用するインセンティブが働いていない
- インセンティブは力学であり心理学である
- 生身の人間を想定して制度設計されていない
(わかっているけどやらないのが人間・ホモエコノミクスではない)
- しくみは弱く、しかけはない
- 一般市民は、病院や保険には関心が高い
- ヨーロッパ諸国や中国では保険を同様の制度に統合し成功している。大いに参考にすべき

・制度の認知度が低い

- スポーツ系大学や専門学校のカリキュラムに入れる

・医療と健康増進施設の連携が不足している

- 既に病気を持っている人の運動の場が不足している
- スポーツ医の数も不足している
- 温泉型健康増進施設を見習って、運動処方箋の作成を簡素化することは重要

5. 所感

フィットネスクラブ大手・ルネサンスの取締役常務執行役員、高崎様のご意見をお伺いできた。我々のこれまでの現状把握（アンケート解析）により明らかになった三つの課題（制度の認知不足、制度簡便化の必要性、医療機関との連携不足）をあらためて指摘されただけでなく、その解決方法まで示していただいた。なかでも、本制度は「しくみは弱く、しかけはない」とのご指摘は、長年にわたり、この業界で国と企業、市民の間に立ってご尽力なさってきたお人ならではの深く言葉だと感じた。この研究班で何をすべきかが、またひとつ明確になった。

